

生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

## 羽生市立南中学校

## 南中だより6月号

令和7年 5月30日発行

「ジャッジ(判断)する力を! あなたはやればできる人!」

校長 堀越 成夫

6月14日(土)には、「南中学校 第46回 体育祭」が開催されます。 5月7日に「3年生の学年練習」が行われ、その後、各クラス、昼休みに練習し、勝利を求めてがんばる姿がみられました。目標は「優勝」なのかもしれませんが、学校の行事である以上、クラスの仲間、学年の仲間、学校の仲間が心を一つにして取り組むことが何よりも重要だと思います。「優勝を目指してどれだけ団結することができたか、良い結果を出すためにどれだけ集中することができたか、どれだけ相手の気持ちを考えて取り組むことができたか。」が重要だと思います。

私たちの生活は、毎日が選択の連続です。起きる時間、家を出る時間、学校で過ごす時間もすべてが選択の連続です。どの選択が正しいのかはわかりません。「自分がより良くなろうという気持ちを目標」にしてする選択と「楽しいから・楽だから」という気持ちからの選択があると思います。体育祭では、「優勝」という目標があって初めて様々な人間力が高まっていきます。

楽しい方への選択も時には大切ですが、「やるときはやる!」といった勇気をもって、ぜひ自分を高める気持ちで判断し中学校生活に臨んでほしいと思います。

今を輝く大谷翔平選手の本質を示すエピソードがあります。『すでに球界の顔となっていて、休日も含めて毎日 | 件以上の取材をこなしていた。この日も大谷選手は終始にこやかに取材に応じた。取材の最後に、思わず「変なこと聞かれて、イラッとすることはないの?」と尋ねると、ニンマリとして言った。「イラッときたら負けだと思ってる」と。』(スポーツグラフィックナンバーウェブより)。熱くなる思いや怒りの感情は人間にとってもっとも激しい感情だと思います。しかし、激情であればあるほど人間の行動は制御不能になります。よくニュースになる事件でも容疑者は、「ついカッとなって・・・」と話しています。 思春期になると人間の心の中に「もう一人の自分」が形成されます。

その影響で自分を客観的に観ることができるようになります。いわゆる「人の目が気になる」能力が形成させます。この新たな視点をメタ認知能力といいます。せっかくですから「もう一人の自分」を働かせて他人の目線から自分自身を見つめ、自分を励ますようにしてみてください。「イラッときたら負け」ではなく、怒りの感情をどう始末するかは人間の課題なのかもしれません。上手につき合っていけたらいいと思います。『心の中に怒りの記憶がある人は、それを手放すことが大切です。手放せるようにチャレンジすることが大事です。』(植西聡著:折れない心をつくるたった一つの習慣より)

さぁ、6 月もがんばっていきましょう!









日	曜日	予定	日	曜日	予 定
1	日		16	月	振替休業日
2	月	教育実習開始	17	火	
3	火	特別日課 ※大会予備日	18	水	
4	水	登校指導日 体育祭予行 ※大会予備日	19	木	※体育祭予備日
		生徒会専門委員会 月例費引き落とし	20	金	※体育祭予備日
5	木	体育祭予行予備日 眼科検診	21	土	部活動停止期間(6月25日から再開)
6	金	埼玉県通信陸上大会	22	日	
7	土	埼玉県通信陸上大会	23	月	
8	日		24	火	1 学期到達度テスト
9	月		25	水	1 学期到達度テスト
10	火	東部地区学力検査(3年)	26	木	特別日課(5時間)
11	水	※大会予備日	27	金	特別日課(5時間)
12	木		28	土	
13	金	体育祭準備	29	日	
14	土	第 46 回体育祭	30	月	
15	П			-	

自己啓発の日:2日、11日、18日、30日

下校指導:11日、18日

体育祭の開催にあたり、生徒席にテントを設置することにしました。そのテントの準備・ 片付けの御協力をお願いいたします。御協力いただける方は、LEBER で御回答ください。